

最初のお話をします。

昨年、日本に来た外国人の数は過去最高を記録しました。国別では近隣の東アジアの国々が最も多く、欧米や中東からの観光客も増えています。日本が世界各国の人々に高く評価されるのは大変うれしいことであります。

ところで、日本と外国では様々な面で違いがあります。これはあるコラム記事で知ったのですが、私たちにとっては当たり前のことでも、外国人にとっては驚くことがたくさんあります。

例えば、治安のよさもその一つであります。

日本では女性が夜道を一人で歩いてほとんど問題ありませんが、欧米では危険なことだとされています。また、日本はマナーのよい人が多い国としても知られているそうです。

このように、どちらかというとい意味で驚

くことのほうが多かったのですが、一方で、不便に感じていることも紹介されています。その中で私が一番問題だと思ったのは、言葉が通じないということです。

グローバル化が進む時代にあつて、外国人と会話ができないということは大きなマイナスだと思えます。せめて英語がどこでも通じるような国であつてほしいと思います。

それでは、次のお話をします。

私の家の近くに書道教室があります。自宅の一室を利用した小さな教室ですが、近所の子供たちがたくさん通っています。窓一面に張られた生徒の作品にはそれぞれの個性が感じられ、見ている私もほのぼのとした気持ちになります。さて、子供の習い事はいろいろありますが、私は習字をお勧めしたいと思います。なぜかといいますと、習字を学ぶことで身につくものが

たくさんあるからであります。

まず一つは、集中力が高められます。これは、心静かに墨をすり、精神を統一して書くことによつて得られる力であります。

そして、これが一番の目的かもしれません、きれいな字が書けるようになります。習字は、字の書き方の基本を学び、お手本をしっかりと見えます。ですから、自然ときれいな字が書けるようになります。字がきれいな人は、それだけでよい印象を持たれます。日常生活から仕事まで様々な場面で生かすこともできます。

そのほかには、心が落ち着くとか、ストレスの解消につながるということも言われています。最近は大人の習い事としても人気があります。皆さんも始めてみてはいかがでしょうか。(了)